

次年度に向けての取組み目標と具体的な取組み方策

平成31年度取組み目標と方策			
評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[1] 教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上 ・真摯で積極的な勉学姿勢の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝課外，夜課外，放課後課外，そしてよる学習の精選を図り，スタディサプリとの連携を模索する。 ・新型センター試験に対応したカリキュラムの運営を通じて，真の学力，教養を身に付けさせる。 ・理系インタークラスの立ち上げ学年として，様々な学習方略に挑戦していく。 ・教師一人ひとりの授業に対する研修機会を設け，授業力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の教科主任会議を通じて精選を図る。 ・授業力を改善するための教科内研修の活性化
[2] 教科指導 (各教科)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期課程の基礎学力の向上 ・新型センター試験への対応 ・英語実践力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・国数英を中心とした学力の向上。基礎学力は当然のこととして論理的思考力を養う指導も徹底する。 ・後期過程においては，新センター試験の情報をいち早く分析し，対応していく。 ・英語村の活用を含め，実践的な英語力を培う取組みに加え native 教員の増員を含め取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新任教員研究授業の実施 教科主任会を毎週実施 定常的な教員研修
[3] 学校生活 への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの撲滅 ・足並みの揃った生徒指導の実行 ・マナー指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活実態調査と平素の学年指導，面接指導を合わせて予防する。また，いじめの芽，いじめられた子の状態を理解する研修を取り入れていきたい。 ・生活指導部主任の役割を明確にし，それぞれの学年において全体の意識を浸透させていく。 ・マナーアップ委員会，生徒指導部だけでなく学年とも連携を深めたマナーの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査年2回実施。 ・週報などで全校に周知 ・月例指導を含め年間計画に沿って随時実施する。
[4] 生徒会・ 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実 ・部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の取組みにおいて，生徒が中心となり素晴らしい成果を挙げつつある。より一層地域に発信できるよう協力したい。 ・運動部40%，文化部20%の加入を目指す。特に前期課程ではより部活動への加入者を増やし，居場所づくりをしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例委員会の実施

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[5] 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・三大進路の確立 日本大学進学 難関大学進学 海外大学進学 特に国立大学合格者を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に進路意識を自覚させる（前期課程3年生の大学訪問を継続する） ・後期課程の生徒のオープンキャンパス参加の推進 ・進路検討会の実施により，学習，進路，学年全体での進路指導を行う ・学習－進路－学年での連携を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の基本方針を早期に教員に示し，学年の計画と連動させながら実施していく。
[6] 保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な健康診断の実施 ・健康管理の支援 ・教育相談の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護をマニュアル化して安心して保健活動が出来るようにする。また，健康診断等でのプライバシー保護を徹底する。 ・コンピューター処理の作業効率を改善させる環境整備をする。 ・前期課程、後期過程生徒の生活に関する調査結果を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より取組む。 ・いじめ防止対策委員会で情報を共有する。 ・生活アンケートの実施
[7] 図書	<ul style="list-style-type: none"> ・入試資料の刷新と充実 ・図書館利用率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の受験傾向を捕らえ，新学力型入試に対応した参考書等の充実を図る。 ・生徒の教養を向上させる取り組みとして，専門的な内容に踏み込む書籍の充実を図る。 ・library 委員会だけでなく，各学年の発達段階に応じた読書指導を展開していく。 ・利用頻度の高い新書および時事関連資料を増強し提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の購入については，時期や出版状況を確認しながら順次取り組んでいく。 ・活性化した図書委員の活動を継続発展させる。
[8] 広報	<ul style="list-style-type: none"> ・入試の検討 ・生徒とのふれあいを重視した学校説明会 ・情報発信の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習履歴に対応できる入試の展開とともに，成績上位者を確保する取り組みを行う。 ・OpenSchool をはじめ，本校の日常の様子がわかるような取り組みを中心に本校の魅力度を口コミで広がる仕掛けをつくる。。 ・ホームページの充実（学校生活が垣間見られるタイムリーな情報の提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より取組む。 ・参加動向を見越して，早期に準備する。 ・年度当初より実施
[9] 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針の浸透 ・校務分掌機能の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度方針をもとに学年目標，クラス目標を設定するよう運用面を徹底する。 ・校務分掌内での連携を図るため，分掌内での打ち合わせを密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて，計画的に行う。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
<p>[10] 庶務</p>	<p>入学式，卒業式， 護者と教師の会 等の総会，奨学金 環境美化などは従 来以上に推進</p> <p>・防災，安全，危機 管理などの強化 ・避難訓練の充実</p> <p>・同窓会活動の活性 化</p>	<p>・入学式，卒業式の運用について，日本大 学，学園の他校との連携を含め，よりよい 形式を模索する。 奨学金については，生活環境だけに留まらない新た な形式を模索する。</p> <p>・生徒指導と連携し，保護者と学校の連絡体 制を緊密なものにして，事故などに際し， 様々な下校状態に即座に応できるようにす る。 ・避難訓練を複数回実施</p> <p>・同窓会の在り方，活用方法を含め新たな ステージに向かうための施策を講じる。</p>	<p>・年度当初より， 可及的速やかに取り 組む。</p> <p>オープンスクール と連動させる</p>